

# 利益相反管理方針

東京三協信用金庫

当金庫は、信用金庫法及び金融商品取引法等を踏まえ、お客様との取引にあたり、本方針及び当金庫が定める庫内規則に基づき、お客様の利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理(以下「利益相反管理」といいます。)し、もってお客様の利益を保護するとともに、お客様からの信頼を向上させるため、次の事項を遵守いたします。

1. 当金庫は、当金庫がお客様等と行う取引を対象として利益相反管理を行います。
2. 当金庫は、以下に定める取引を利益相反管理の対象とします。
  - (1)次に掲げる取引のうち、お客様等の利益が不当に害されるおそれのある取引
    - ① 当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様等と行う取引
    - ② 当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様等と対立又は競合する相手と行う取引
    - ③ 当金庫が契約等に基づく関係を有するお客様等から得た情報を不当に利用して行う取引
  - (2)①から③のほかお客様等の利益が不当に害されるおそれのある取引
3. 当金庫は、利益相反管理の対象となる取引について、次に掲げる方法その他の方法を選択し、又これらを組み合わせることにより管理します。
  - ① 対象取引を行う部門とお客様等との取引を行う部門を分離する方法
  - ② 対象取引又はお客様等との取引の条件又は方法を変更する方法
  - ③ 対象取引又はお客様等との取引を中止する方法
  - ④ 対象取引に伴い、お客様等との利益が不当に害されるおそれがあることについて、お客様等に適切に開示する方法
4. 当金庫は、営業部門から独立した管理部署の設置及び責任者の配置を行い、利益相反のおそれのある取引の特定及び利益相反管理を一元的に行います。  
又、当金庫は、利益相反管理について定められた法令及び庫内規則等を遵守するため、役職員等を対象に教育・研修等を行います。
5. 当金庫は、利益相反管理態勢の適切性及び有効性について定期的に検証します。

【注】「利益相反管理」とは、お客様等と当金庫のお取引に関して、お客様等の利益を不当に害するおそれが起こらないよう、当金庫が法令等に基づき管理することをいいます。

以上